

第 1 章 目黒区観光ビジョンの改定

～ もっと住み続けたいまち、訪れたいまちへ～

目黒区観光ビジョンは、目黒区における観光まちづくり推進の指針です。

1 観光ビジョン改定の背景と目的

目黒区観光ビジョンが平成 17 年 3 月に策定されてから、10 年を迎えます。この間、国際化の急速な進展とあいまって、これまで以上に国や地域を越えた人々の移動や交流が行なわれ、平成 25 年中に日本を訪れた外国人旅行者数は 1,000 万人を突破しました。

また、目黒区においては、桜開花時期の目黒川や目黒天空庭園に、区外から訪れる人が多くなっています。さらに、2020 年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることとなり、国外を含めて目黒区を訪れる方の増加が予想されます。

一方、区の世論調査では、定住意向は常に 9 割を超え、「住みたいまち、住み続けたいまち」と多くの方が意識されていることが伺えるとともに、「都心に近い住宅地」、「おしゃれなまち」といった特徴が定着してきています。

観光ビジョン策定後、こうした社会状況や環境が大きく変化したことに伴い、これまでの実績をふまえて改定を行い、現況に即した新たな目黒区の観光ビジョンを示します。

2 観光ビジョンの位置づけ

このビジョンは、今後の目黒区における観光まちづくりのあり方や基本的方向性を示したものです。

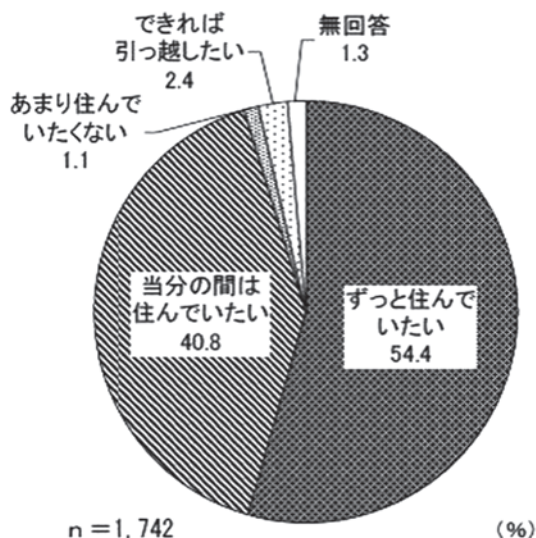
3 観光ビジョンの対象期間

このビジョンが対象とする期間は、平成 27 年度から概ね 10 年間とします。なお、観光まちづくりの進捗状況や社会状況にあわせ、必要に応じて見直しを行うものとします。

～ 「観光まちづくり」とは～

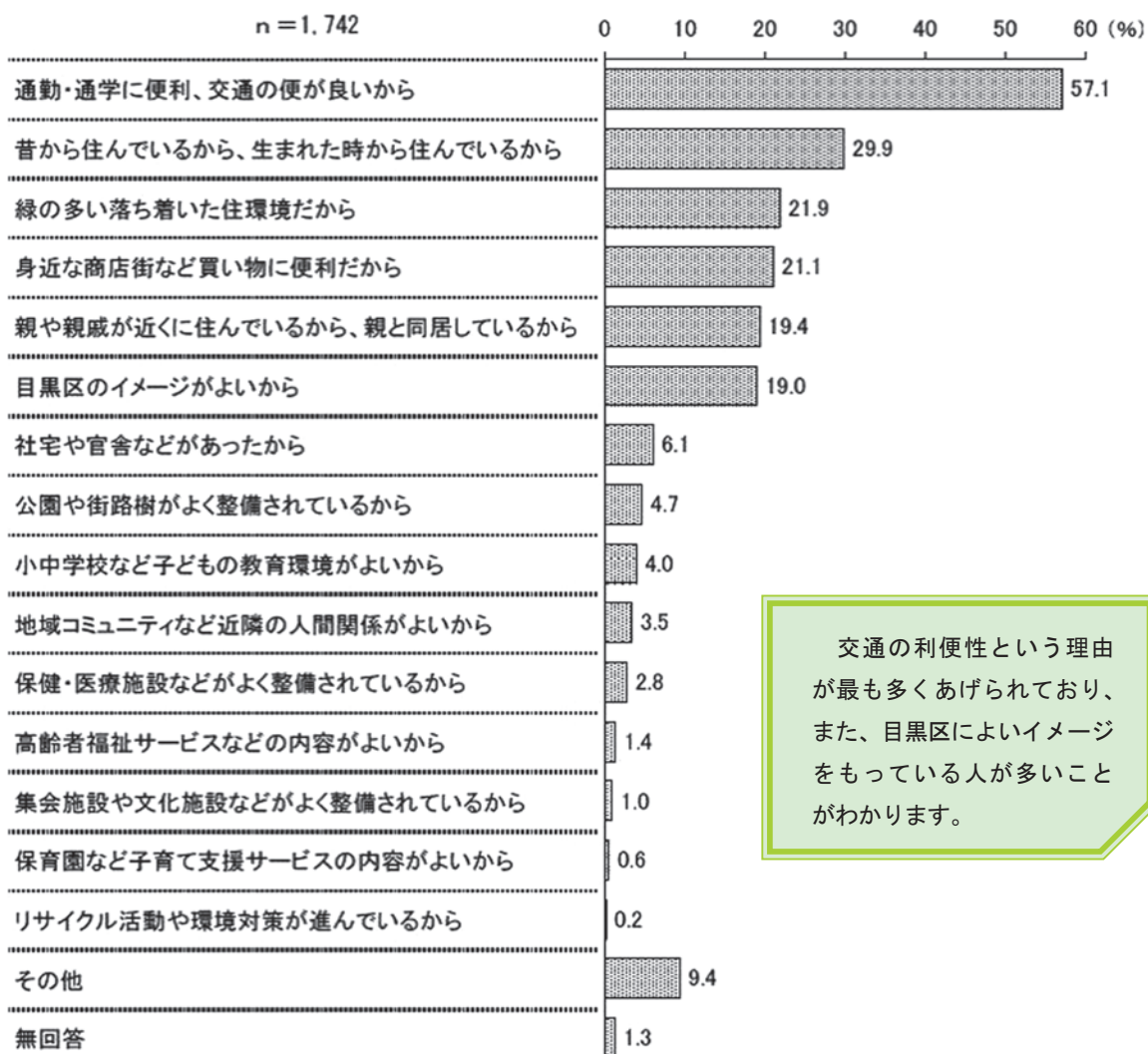
地域の構成主体である区民、団体、事業者、区が相互に連携、協力し、地域の歴史や文化、産業、自然などさまざまな観光資源を生かしながら、人々の交流を促進し、にぎわいと活力あふれるまち、文化の香り高いまちを実現しようとする活動をいいます。

定住・転出意向



目黒区への定住意向は、平成9年以降、95%前後となっています。

目黒区への居住理由



交通の利便性という理由が最も多くあげられており、また、目黒区によいイメージをもっている人が多いことがわかります。